第 011 講 文章構成① 総論から具体化へ

学習目標

3 段落の文章で、全体を見渡して述べる総論と、そこから別々の側面を詳しくする段落の関係を説明できるようになる。

読み方のルール

解説

段落の役割を調べるときは、まず各段落が「何について」「どの範囲まで」説明しているかをつかむ。次に、広い内容を述べる段落を候補にし、**その内容がほかの段落の説明をどちらも含んでいるか**を確かめる。両方に対応すれば、その段落は総論として働いていると考えられる。

後続の段落では、総論のうち何を一つずつ詳しくしているかを比べる。同じ話題の語が出てくるだけでは不十分だ。また、一文が直前の説明を具体例で支える関係と、**段落全体が総論の一側面を詳しくする関係**は、読む単位が違う。

段落の先頭にあるという理由だけで総論や中心文を決めない。すべての文章がこの構成とは限らず、すべての段落の先頭に中心文があるわけでもない。今回は本文の内容を照らし合わせて判断する。

©ミライコーチング

英文を読む

英文

On Saturday mornings, a small room in the community center becomes a place for people with damaged clothes. A clothing repair club uses this room, and anyone in the neighborhood can visit it. The club offers two kinds of help: volunteers repair clothes for visitors, and visitors can learn simple repair skills. These two activities are different, but both make old clothes useful again. People do not need special skills or tools when they first visit the club.

One part of the club helps people who cannot repair their clothes at home. Visitors bring clothes with missing buttons, small tears, or loose pockets to a table near the door. A volunteer checks each item and chooses a simple way to fix it. For example, a volunteer sews a new button onto a visitor's blue coat before the visitor goes home. After the repair, the owner can wear the coat or shirt again without buying something new.

Another part of the club teaches visitors how to make easy repairs by themselves. At a second table, a teacher shows small groups how to use a needle and thread. Each person then tries the same steps on a piece of old cloth. The teacher watches and gives help when someone finds a step difficult. People can take a short guide home, so they can practice these skills again during the week.

語注：community center「地域センター」／clothing repair club「衣類修繕クラブ」／volunteer「ボランティア」／tear「破れ」／sew「縫い付ける」／needle「針」／thread「糸」

©ミライコーチング

問題

問 1

この文章全体の**話題**は何か。短い日本語の名詞句で答えなさい。

問 2

総論を担うのは、最初・真ん中・最後の段落のうちどれか。一つ答えなさい。

問 3

真ん中の段落は、クラブのどのような働きを具体的に説明しているか。日本語で一つ答えなさい。

問 4

最後の段落は、クラブのどのような**別の働き**を具体的に説明しているか。日本語で一つ答えなさい。

問 5

この文章では、最初の段落と、その後の二つの段落はどのような関係になっているか。**段落の役割のつながり**に着目し、日本語で一つ答えなさい。

問 6

真ん中の段落で、ボランティアが来場者の青いコートに新しいボタンを縫い付ける**具体的な場面**を述べる一文を探し、その文の**先頭から英語 5 語**を、語順・つづり・句読点を変えずに抜き出しなさい。

©ミライコーチング

解答・解説

問 1

模範解答

地域の衣類修繕クラブ

最初の段落の a clothing repair club が話題の対象を示す。真ん中の段落では服を持ち込む来場者と修繕、最後の段落では修繕の方法を学ぶ人が登場するが、どちらもこのクラブの活動について述べている。
問われているのは「何についての文章か」であり、クラブの働きをすべて説明することではない。「地域の衣服修理クラブ」「衣類を直す地域のクラブ」など、同じ対象がわかる名詞句でもよい。

問 2

模範解答

最初の段落

判断の決め手は、最初の段落にある two kinds of help の中身である。そこには「ボランティアが服を修繕する」と「来場者が修繕の技術を学ぶ」の二つが示されている。
その後を照合すると、真ん中の段落は前者、最後の段落は後者を詳しくしている。**二つの後続段落の内容を一緒に含む**ため、最初の段落が総論とわかる。「最初にあるから」という位置だけの判断ではない。

問 3

模範解答

来場者が持ち込んだ服を、ボランティアが修繕すること。

真ん中の段落の helps people who cannot repair their clothes at home が、家で直せない人を助けるという方向を示す。続いて、来場者が服を持参し、ボランティアが品物を確かめて直す流れが説明される。
青いコートにボタンを縫い付ける場面はその一例だが、この段落の働きは「青いコートの修理」だけではない。複数の文を覆う「**服を持ち込んだ人に修繕を提供すること**」までまとめて答える。「具体例を示すこと」だけでは、この段落固有の内容がわからない。

©ミライコーチング

問 4

模範解答

来場者に、自分で簡単な修繕をする方法を教えること。

最後の段落の teaches visitors how to make easy repairs by themselves が、学ぶ主体を「来場者」と明示している。針と糸の使い方を見せる、布で手順を試す、手順を難しいと感じた人を手助けするという後続の文も、**来場者が技術を学ぶ活動**を詳しくしている。
真ん中の段落ではボランティアが持ち込まれた服を直すのに対し、ここでは来場者自身がやり方を練習する。「服を修繕すること」だけでは両者の違いが消えてしまう。「来場者が自分で直せるように練習すること」も本文に合う言い換えだ。

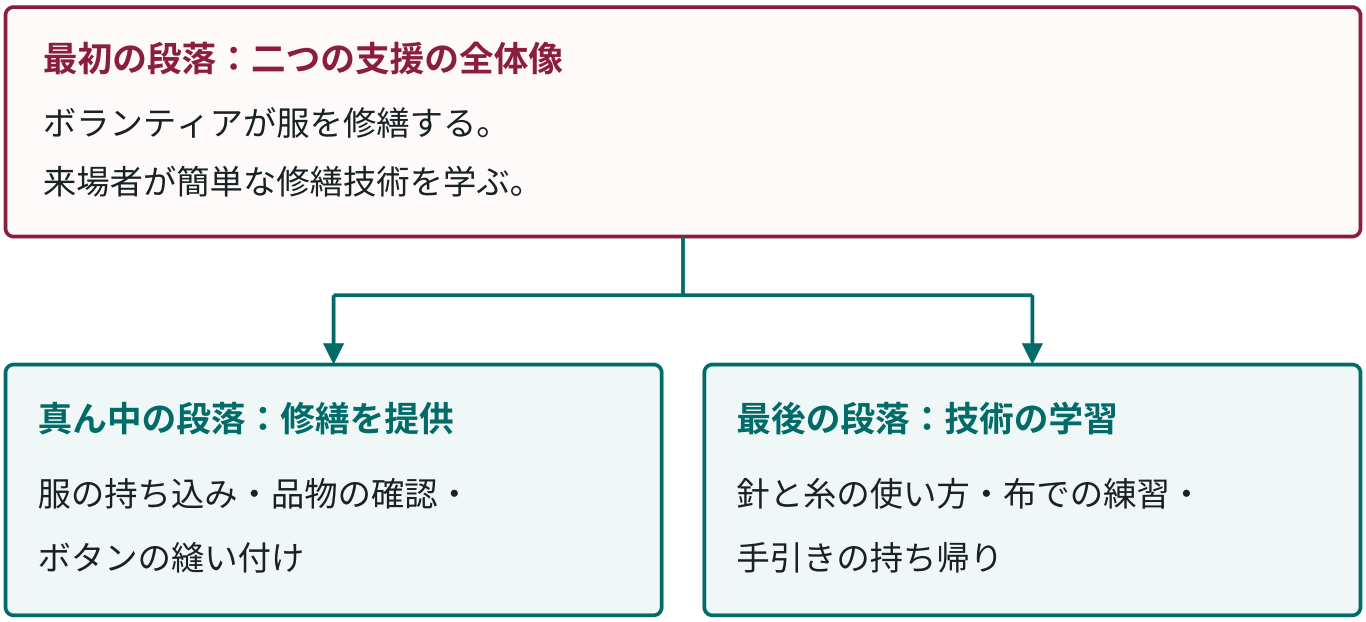
©ミライコーチング

問 5

模範解答

最初の段落で二つの支援の全体像を示し、続く二つの段落でその異なる支援を一つずつ詳しく説明する関係。

最初の段落の two kinds of help に続く二つの説明が、後続の段落と次のようにつながる。



総論（二つの働き）→〔修繕をしてもらう活動／自分で修繕を学ぶ活動〕の二方向に詳しくする、という構成だ。ここでの「具体化」は、後続の**段落全体**がそれぞれ一つの側面を説明することを指す。

一方、真ん中の段落の For example, は、同じ段落の中で「ボランティアが品物を確認して直す」という説明を、青いコートのボタンを縫う**一文の場面**で支える。文と文の例示であり、段落と段落の関係そのものではない。

ミライポイント！

文章の構成は、段落の位置や接続語だけで決めない。広い説明に含まれる複数の中身が、後続のどの段落でそれぞれ詳しくなるかを対応させる。文中の「例えば」は、一つの説明を支える局所的な例かどうかも確かめる。

問 6

模範解答

For example, a volunteer sews

設問の条件は「真ん中の段落」「青いコート」「新しいボタンを縫い付ける場面」だ。真ん中の段落で a volunteer sews a new button onto a visitor's blue coat を含む文を探す。この文は、修繕の一般的な説明ではなく、実際に行う一場面を示している。

該当する文の先頭に戻ると、For example, a volunteer sews … と始まる。空白で区切って数えると **For（1）／example,（2）／a（3）／volunteer（4）／sews（5）**。したがって解答は **For example, a volunteer sews** で止める。example の直後のコンマも残す。A volunteer checks each item … は一般的な作業の説明で、指定された青いコートの場面ではない。

全文の構造分析

各文の下に、主な文の骨格（S・V・O・C・M）を示す。O1・O2 は「人に・物や内容を」に当たる二つの目的語を区別する。句・節の内側は S′・V′・O′ など、さらに内側は S″・V″・O″ などで示し、内側ほど英文に近く、外側ほど下段に置く。〈 〉は名詞の働き、〔 〕は名詞を詳しくする働き、( )は副詞の働きの句・節を表す。本文を読むときの補助資料であり、問題の解答として構造記号を書く必要はない。

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

(On Saturday mornings) M, 〈a small room 〔in the community center〕〉 S becomes V

〈a place 〔for people 〔with damaged clothes〕〕〉 C. 〈A clothing repair club〉 S uses V this room O,

and 〈anyone 〔in the neighborhood〕〉 S can visit V it O. The club S offers V 〈two kinds 〔of help〕〉 O:

volunteers S repair V clothes O (for visitors) M, and visitors S can learn V 〈simple repair skills〉 O.

〈These two activities〉 S are V different C, but both S make V 〈old clothes〉 O useful C again M. People S

do not need V 〈special skills or tools〉 O (when they S′ first M′ visit V′ the club O′) M.

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

〈One part 〔of the club〕〉 helps 〈people 〔who cannot repair their clothes (at home)〕〉.
S V S′ V′ O′ M′ M′ O

Visitors bring 〈clothes 〔with missing buttons, small tears, or loose pockets〕〉
S V O

(to a table 〔near the door〕). 〈A volunteer〉 checks 〈each item〉 and chooses
M S V O V

〈a simple way 〔to fix it〕〉. (For example), a volunteer sews 〈a new button〉
V′ O′ M′ O M S V O

(onto a visitor's blue coat) (before the visitor goes home). (After the repair), the owner
M S′ V′ M′ M M S

can wear 〈the coat or shirt〉 again (without 〈buying 〈something new〉〉).
V O M V′ O′ M

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

〈Another part 〔of the club〕〉 teaches visitors 〈how to make easy repairs (by themselves)〉.
S V O1 M′ V′ O′ M′
O2

(At a second table), a teacher shows 〈small groups〉 〈how to use a needle and thread〉.
M S V O1 M′ V′ O′
O2

〈Each person〉 then tries 〈the same steps〉 (on 〈a piece 〔of old cloth〕〉). 〈The teacher〉
S M V O M S

watches and gives help (when someone finds a step difficult). People can take
V V O S′ V′ O′ C′
M

〈a short guide〉 home, so they can practice 〈these skills〉 again (during the week).
O M S V O M M

一文ずつの対訳

対訳

On Saturday mornings, a small room in the community center becomes a place for people with damaged clothes.
土曜日の朝、地域センターの小さな部屋は、傷んだ服を持つ人たちのための場所になる。

対訳

A clothing repair club uses this room, and anyone in the neighborhood can visit it.
その部屋を衣類修繕クラブが使っており、近所の人なら誰でも訪れることができる。

対訳

The club offers two kinds of help: volunteers repair clothes for visitors, and visitors can learn simple repair skills.
クラブは二つの形で人を助けている。ボランティアが来場者の服を修繕することと、来場者が簡単な修繕の技術を学べることだ。

対訳

These two activities are different, but both make old clothes useful again.
この二つの活動は異なるが、どちらも古い服を再び役立つものにする。

対訳

People do not need special skills or tools when they first visit the club.
初めてクラブを訪れる人に、特別な技術や道具は必要ない。

対訳

One part of the club helps people who cannot repair their clothes at home.
クラブの一方の活動は、家で自分の服を修繕できない人を助けることだ。

対訳

Visitors bring clothes with missing buttons, small tears, or loose pockets to a table near the door.
来場者は、ボタンが取れた服や小さな破れのある服、ポケットの取り付けが緩んだ服を、ドアの近くにあるテーブルへ持ってくる。

©ミライコーチング

対訳

A volunteer checks each item and chooses a simple way to fix it.
ボランティアは品物を一つずつ確認し、それを直す簡単な方法を選ぶ。

対訳

For example, a volunteer sews a new button onto a visitor's blue coat before the visitor goes home.
例えば、あるボランティアは、来場者が帰る前に、その人の青いコートに新しいボタンを縫い付ける。

対訳

After the repair, the owner can wear the coat or shirt again without buying something new.
修繕後、持ち主は何か新しいものを買わなくても、そのコートやシャツをまた着ることができる。

対訳

Another part of the club teaches visitors how to make easy repairs by themselves.
クラブのもう一方の活動は、来場者に自分で簡単な修繕をする方法を教えることだ。

対訳

At a second table, a teacher shows small groups how to use a needle and thread.
別のテーブルでは、教える人が少人数のグループに針と糸の使い方を見せる。

対訳

Each person then tries the same steps on a piece of old cloth.
その後、一人ひとりが古い布の一切れを使って、同じ手順を試す。

対訳

The teacher watches and gives help when someone finds a step difficult.
教える人は見守り、誰かがある手順を難しいと感じたときには手助けする。

©ミライコーチング

対訳

People can take a short guide home, so they can practice these skills again during the week.
参加者は短い手引きを持ち帰ることができるので、平日にその技術をもう一度練習できる。

©ミライコーチング